



大津市浜町1-38
 滋賀銀行従業員組合
 TEL 077-525-5232
 TEL 077-521-2775
 FAX 077-525-5232
<http://www.biwa.ne.jp/ffs/>
 E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

ひとりの主婦の活動が全世界に 核兵器禁止・廃絶署名がはじまり

8月7～9日の3日間、原水爆禁止2011年世界大会が・長崎に、滋賀県原水協代表団の一員として、当従組を代表して車谷薫さんが参加され、その感想文が寄稿されました。

世界にある22・600発の核兵器保有国とともに、更に3月11日におきた東日本大震災による史上最悪の福島第一原発事故によって放射能被害は我が国並びに、全世界からも恐怖にさらされています。

この大会で、特に印象に残ったことがあります。それは、ある主婦の活躍でした。

広島・長崎の原爆投下に続いてビキニ環礁での米国の水爆実験で日本の漁船「第五福竜丸」の船員が被爆し、相次ぐ核兵器被害で国民は心身とも疲れきってしまい、悲壮感が漂っていました。

食卓には、日本人の蛋白資源である魚介類は放射能汚染で並べられず、当時の主婦の方々も毎日の献立に

環境を守ろうとすれば、例えば福井県に隣接する滋賀県民の生活や命を守るには費用がかかることになる。それでも国民の生活と命を守るために費用をかけてでも自然エネルギーを推進すべきだと思ふ。現状では、経済と環境は両立しないと考えられている。そういう立場から



非常に苦労されました。この苦労された主婦が核兵器禁止・廃絶に真っ先に立ち上がり、署名運動の草の根活動に乗り出しました。

この一部の主婦の署名活動が歴史の始まりとなり、日本全国の女性には勿論のこと、男性も署名活動に参加し、その輪は全世界に広がり、「第1回原水爆禁止世界大会」開催として開かれたのです。小さな活動が、全世界が注目される大きな大会に繋がりました。

主張

7月19日の労働使懇話会における組合の主張を数回に分けて掲載いたします。

私たち組合は、「環境と経済の両立はありえない」立場で従来から主張してきた。その考えには信念をもって

いる。今すぐに自然エネルギーに変えられな

環境と経済の両立は？

いからすべての原発を廃止とまではいなくても、時間軸を設定して廃止の方向で進めることには異論はない。自然エネルギーではコストがかかることというのが前提にあつて

ら言えば、城南信用金庫の理事長が「脱原発宣言」をし、金庫のホームページにも「原発に頼らない安心できる社会へ」を掲載されて、朝日新聞の取材に対して次のように発

三井住友銀行西川名誉顧問も脱原発宣言を「英断」と言われたという。何より最後に「企業だって、正しいと思ったことは発言すべきです。そこで働く人たちの誇りにかかわ

職場の声

火災時の体制が心配です

8月3日出勤してきたら通用門左奥の換気口から白煙が出ていた。非常ベルが2回鳴ったが異常が見つからなかったとのこと。1階が異常だと地下と2階の非常ベルが鳴ると聞いたが、それでは3階以上の人には知らせられないのだろうか？

地下に煙が充満していたので、出勤されたパートさんが地下のロッカーに行けないので、人事の誘導で9階に案内されたが地下が火災ならとんでもない話です。

その後も、火災の館内放送もなく、地下が火災なのにすぐで通常どお

りの仕事してるのが変な感じでした。また、未だに、何の説明もしないのも異常です。

パワハラは犯罪行為

最近、私たちの職場のあちこちで「パワハラ」があるようです。言葉だけでなく暴力的事象もあるらしく、職場の荒廃が進んでいることを現しています。

他行でも店長席ぐるみで仕事のミスを取り上げ陰湿パワハラ行為を繰り返し、退職を強制されたと裁判がされている事例もあります。パワハラやセクハラは許されない犯罪行為です。



ことをよびかけます。「核兵器のない世界」の扉を開くため、いまこそ行動に立ち上がりましょう。被爆者とともに、そして未来を担う若い世代とともに

「長崎崎からのよびかけ」より

猛暑の県庁前で怒りの座り込み

猛暑の8月15日、年金の給付日に実施されている「怒りの座り込み」集会が行われました。集会には年金者組合や民主団体から80名が参加され、従組からOB2人が参加しました。

県高齢者運動連絡会の古株議長は「民主党政権は税と社会

保障の一体改革をすめようとして、力を合せてこの政治を根本から変えていこう」と呼びかけました。

